



市民公開講座「こどもの健康教室・お子さんが急病になったとき」より	1ページ
医療安全管理室からのお知らせ⑩ / 医療福祉相談室だより / やまぼとギャラリー	2ページ
三重病院レポート「第5回ハンドボール女子ユース世界選手権に帯同して…」 / 三重病院外来糖尿病教室のお知らせ	3ページ
アレルギー教室のクッキング / 外来からのお知らせ / 外来診察のご案内	4ページ



【こどもの健康教室】

お子さんが 急病になったとき より

去る3月に三重病院市民公開講座『こどもの健康教室』におきまして、『お子さんが急病になったとき』と題し、私どもが救急外来で比較的良好に診察させていただく小児の症状に対して、ご自宅でできる対応方法について話をさせていただきました。

今回の講座には、配布資料として『子ども応急マニュアル』を作成しました。本冊子は当院小児科病棟の看護師によって作成されたもので、私の講演はこのマニュアルに沿って解説を行いました。

子ども応急マニュアルでは、発熱したとき、脱水について、嘔吐や下痢の症状が強いとき、異常な呼吸状態、けいれんしているときといった5つの状況についてまとめてあり、それぞれの症状に応じて、自宅で様子を見てよいレベル、明日にも病院を受診すべきレベル、夜間でもすぐに病院を受診すべきレベルに分け、対応を促す内容に作成してあります。

講演の中では、なぜ発熱が起こるのか、こういった症状が脱水のサインなのか、どんな呼吸をして

市民公開講座

いる時が子どもは苦しい状態なのかを図や写真を多く用いて解説させていただきました。医療に携わらなければなかなか聞く機会がないけれども、皆様にぜひとも知っていただきたいという点を重点的に話をさせていただきました。

30分という時間制約の中で、子どもの体について多くを語ることは難しいことですので、今回は『急病』をテーマとし、その中でも特に頻度の高い5つの症状にテーマを絞らせていただきました。今後も市民公開講座『こどもの健康教室』は継続して開催させていただく予定です。もし皆様の中にこんなテーマで話を聞いてみたいといったご要望がありましたら、遠慮なく当院スタッフに申し付けたいと思います。三重病院は小児医療においては特に幅広い専門医が在籍する県内一の施設と自負しております。様々なご要望にお応えできると思いますので、ぜひご参加いただければと思います。

今回天候の悪い中で参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

また、紹介しました『子ども応急マニュアル』はまだ十分に数がございませぬ。一度手に取っていただき、いつ訪れるか予想のつかないお子さんの急病に備えていただき、あわてることのないようにしていただければ幸いです。ご所望の際は、小児科外来窓口にお問い合わせください。

(小児科 貝沼 圭吾)

